

# 福井地区柔整広報 第115号

平成25年6月吉日  
福井地区柔道整復師会  
会長 佐々木 西盛

## ☆平成25年度 第2回幹事会報告☆

平成25年6月19日(水) 柔整会館3階会議室にて、午後8時30分から第2回福井地区柔道整復師会幹事会が開催されました。佐々木西盛会長挨拶の後、岡倉総務部長の議長により、以下について審議されました。

### 審議内容

#### 【平成25年福井地区通常総会について】

山本(幸)総務部員より、6月29日(土)福井パレスホテルにて、午後4時から平成25年福井地区通常総会、午後5時から懇親会を開催するとの提案があり承認された。尚、来賓の方々が多く出席されますので、会員の方は必ず上着とネクタイ着用で出席してくださいとのお願いがありました。

#### 【福井地区研修会について】

青木事業部長より、8月18日(日)福井パレスホテルにて、午後3時30分から学術研修会、4時45分から保険連絡会、5時30分から懇親会を開催するとの提案があり承認された。

当日は来賓の方も来られますので、上着・ネクタイ着用の上、10分前には着席してくださいとのお願いがありました。

### 各部報告

経 理 部：山本(嘉)経理部長より、北信越ブロック柔道大会に参加された佐々木会長と山本(幸)会員・野川会員に、例年通り福井地区から激励金の支払いをしたとの報告がありました。

事 業 部：青木事業部長より、今年度のソフトボール早朝練習は、8月7・21・28日(水)板垣中央公園にて、5時45分(雨天中止)から開催します。詳しくは送金通知書に同封してあります『ソフトボール練習会のご案内』をご覧くださいとの報告がありました。

学 術 部：宇野学術部長より、8月18日の学術研修会は、演題『柔道整復師のおかれている立場』講師 酒井重数先生(富山)ですとの報告がありました。

保 険 部：玉谷保険部長より、8月18日に開催されます学術研修会の後に『保険連絡会』を予定しているとの報告がありました。

広 報 部：林広報部長より、パソコン等に興味をお持ちの方やご自分でホームページを作りたいという方は広報部までご連絡下さい。

活路開拓部：佐々木(誠)活路開拓部長より、5月の活動報告(後記参照)と7月の県民スポーツ祭柔道競技での救護活動を行うとの報告がありました。

介護保険部：野村介護保険部長より、6月29日の地区総会受付で福井市の介護サービスのパンフレットを配布します。パンフレットをもとに、ご相談がありましたらお受けします。また、介護研修会を月末の水曜日午後8時30分から柔整会館3Fで開催しています。興味をお持ちの会員の方は奮ってご参加下さいとの報告がありました。

総 務 部：報告はありませんでした。

## その他

酒野(吉)会員より「福井地区会員から、緊急連絡網のFAXや電話を、今後、メールでの連絡に出来ないか。との相談がありました。」と報告がありました。『今後の議案に持ち越し』となりました。

### 【活路開拓活動報告及び活動予定】

	活路開拓活動報告	活動された先生方(敬称略)ご苦労さまでした。
5/11	赤十字フェスティバル救護	宝鏡隆志・佐々木誠
5/12	全国ママさんバレーボール大会救護	清水茂成・岩崎岩夫
5/19	北信越学生柔道大会救護	阿部嘉徳・野川浩毅
5/26	全国ママさんバレーボール大会救護	増田伊公央・中荒江督

参加は自由です。皆様の参加をお待ちしております。  
(会場等詳しいことは、活路開拓部 佐々木(誠)部長までお問い合わせ下さい。)

### 【第35回北信越学術大会福井大会に参加して】

吉田晋也 会員

私は入会してから毎年北信越学術大会に参加しています。毎回、特に興味があるものは会員発表であり、スポーツ障害に関する発表です。今回は第3、4、5議席の発表を特に楽しみにしていました。

第三議席では足底板を活用することで、動作時の下肢安定性が高まり再負傷の予防に繋がることを確信しました。大事なのは再負傷の予防だと思います。バランス、バランスとよく聞きますが、バランスの重要性が十分に確認できました。

また、第4議席の前鋸筋トレーニングには老若男女を選ばず、すべての方を対象に行える方法であると思われます。スポーツをする人だけでなく、インピンジメントで苦痛を訴える患者様は多くいるのではないかと思いますので今後有効に活用していきたいと思います。

最後は福井県木村透会員の発表で締めくくられました。ロイコテープを主体としたテーピングでは、悩みどころである「急性期の症状が消失したのち、活動を維持すると疼痛出現」という所が非常に興味深い発表でした。足関節へのテーピングが下肢全体、そして身体全体の安定性へと繋がるのだと思います。完全に症状改善するまでの過程では、このような施術が重要になってくると思います。患者様の要望に応じてこそ地域に密着した柔道整復師だと実感しました。

そして、実技発表では自着テープを使用することで皮膚のトラブルがみられなかったところが本当に素晴らしく思います。鎖骨骨折のみでなく、他の長期固定に対して応用出来るのではないかと思います。固定法も、それほど複雑ではなく分かりやすかった為、施術に活用しやすいと思われました。

県民公開講座、湯浅先生の講演はポスターを掲示した時から患者様の反応はよく、講演翌日から参加された患者様より好評を頂きました。公益法人として地域の方に喜んでいただける事業として最高の講演だったのではないでしようか。

最後に、今回実行委員として企画、運営された会員の先生方に深く感謝致します。ありがとうございました